

令和 5 年度 事業報告

総括

当財団は、昭和 61 年の設立以来、県民の総合的な健康づくりを推進するため、生活習慣病等の疾病予防、早期発見等に関する事業を行い、県民の保健・医療及び福祉の向上に努めてきたところです。

新型コロナウイルス感染症への対応が 4 年目となった令和 5 年度は、感染症法上の分類が 5 月から 5 類に引き下げられたことから、財団の各事業については、引き続き適切な感染防止対策を講じながら、コロナ禍の中で落ち込んだ事業水準の回復、復元を目指して取り組みました。

財団の主要事業である集団健診事業については、県や市町村、関係団体と連携を図りながら、積極的な受診勧奨や未受診者健（検）診の充実に取り組みました。その結果、受診者数は前年度に比べ約 7% の増加となりましたが、令和元年度と比較するとまだ 90% 強の水準に留っています。

診療所事業では、新型コロナに加え、前年度は地域がん検診の一部隔年化等の影響により受診者数が大きく減少しましたが、令和 5 年度は各健（検）診において前年度から増加となりました。

検査事業では、新型コロナによる影響の継続と人口減少等により、検査件数は横ばい又は減少傾向となっています。そうした中で、食品衛生の確保を目指して食品衛生法登録検査機関の登録を更新したほか、新生児の先天性代謝異常等検査では令和 6 年 4 月からの検査項目の拡大に向けて準備を整えました。

普及啓発事業については、リレー・フォー・ライフのリレーイベントを 5 年ぶりに本来の夜越えで開催することができたほか、がん検診受診率の向上を目指して、デジタル広告を活用した広報、県や市町村等と連携した啓発活動の実施など、積極的に取り組みました。

今後も、健（検）診受診率の向上をはじめ、時代の要請に即した取組を着実に進めることで、「県民の総合的な健康づくりの推進」という財団の目的を果たしてまいります。

I 健診・検査事業

1 疾病予防及び早期発見のための健診及び検査事業

県民の疾病予防・早期発見、健康の保持増進のほか、生活環境の保全を図るため、次の健診・検査事業を実施しました。

令和 5 年 5 月 8 日以降の新型コロナウイルス感染症が感染症法上の 5 類に移行された後についても、当財団独自の基準を設けて、引き続き必要な感染防止対策を適切に講じることで、受診者や健（検）診に従事する職員にとって安全・安心な健（検）診を推進しました。

(1) 地域健診

① 特定健康診査の状況

3市町から新規受託があり、受診者数全体で8.5%の増加となりました。この増加については、概ね新規受託分(2,365人)によるものでした。また、コロナ禍前の令和元年度の受託者数と比較すると、92.3%という結果になりました。

② 各種がん検診等の状況

各がん検診の受診者数については、新規受託もあり大腸がん検診、前立腺がん検診で受診者数が増加しましたが、肺がん検診は横ばい状態、胃がん検診は減少となりました。骨密度検診については、1町で保健事業見直しのため業務終了となった影響で、減少となりました。子宮頸がん検診、乳がん検診に関しては、県や市町村、関係団体と連携を図りながら、積極的な受診勧奨や未受診者検診の充実に取り組んだほか、県と協力して行ったショッピングモール検診の効果や新聞広告、ラジオCM、デジタル広告を使用した普及啓発を行った結果、受診者数が増加しました。

[令和5年度新規受託]

- ・高崎市榛名倉渕地区：特定健康診査、大腸がん検診、前立腺がん検診
- ・下仁田町：特定健康診査、肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診、骨密度検診
- ・富岡市：胃がん検診(1日程)
- ・草津町：特定健康診査、結核検診、肺がん検診
- ・榛東村：大腸がん検診

事業区分		令和5年度実績	令和4年度実績	前年比(%)	
胸部検診	結核検診	1,876	1,136	165.1%	
	肺がん検診	93,838	95,266	98.5%	
	読影受託のみ	10,257	8,765	117.0%	
	計	105,971	105,167	100.8%	
特定健康診査	国保	20,320	19,914	102.0%	
	国保外	社保	1,462	1,393	105.0%
		後期高齢者	11,126	9,064	122.7%
		健康診査等	3,668	3,351	109.5%
	計	36,576	33,722	108.5%	
	心電図検査	10,872	10,293	105.6%	
	眼底検査	8,369	7,841	106.7%	
風しん抗体検査	201	309	65.0%		
胃がん検診	X線検査	17,412	18,460	94.3%	
	A B C 検査	1,028	1,021	100.7%	
子宮頸がん検診		22,979	22,111	103.9%	
乳がん(甲状腺)検診	マンモグラフィ	15,414	14,197	108.6%	
	マンモグラフィ+視触診	4,331	4,197	103.2%	
	マンモグラフィ+超音波	1,383	1,404	98.5%	
	計	21,128	19,798	106.7%	
大腸がん検診		24,950	22,493	110.9%	
前立腺がん検診		13,257	12,990	102.1%	
骨密度検診		2,030	2,339	86.8%	
歯周疾患検診	歯周疾患検診	35	49	71.4%	
	唾液検査	58	85	68.2%	

(2) 職域健診

- ① 巡回健診の実施が難しい小規模事業所や事業所健診未受診者に財団へ参集いただき健診を行う集合健診の日程を前年度より多く確保し、受診機会を増やしました。その結果、受診者数は令和4年度の4日間119名に対し、令和5年度は11日間464名に拡大しました。
- ② 令和4年度まで群馬県が行っていた「社会福祉施設等結核健康診断事業」を健康づくり財団が引き継ぎ、エックス線検診車1台を借用して180施設(約9,000件)実施しました。なお、この事業は高齢者施設における結核の早期発見を目的に、平成8年から実施されているものです。このほか、群馬県職員定期健診を入札により新規受託したことにより、一般健康診断等に関連する項目の受診者数が増加しました。

【職域健診】 (単位:人)

事業区分		令和5年度実績	令和4年度実績	前年比(%)	
胸部検診	結核検診	43,584	29,796	146.3%	
	肺がん検診	1,499	1,554	96.5%	
	計	45,083	31,350	143.8%	
健康診断	健康診断	42,254	37,799	111.8%	
	特殊健康項目	法定じん肺	136	1,026	13.3%
		有機溶剤	1,243	1,645	75.6%
		電離放射線	830	237	350.2%
		特定化学物質	4,496	5,867	76.6%
	行政指導	有機光線	113	413	27.4%
		騒音	809	1,405	57.6%
		情報機器(VDT)	477	469	101.7%
		振動	103	110	93.6%
		腰痛	966	1,018	94.9%
	メンタルヘルス支援	法定ストレスチェック	14,439	15,010	96.2%
	風しん抗体検査	28	46	60.9%	
胃がん検診	X線検査	5,542	4,479	123.7%	
	ABC検査	321	362	88.7%	
子宮頸がん検診		1,176	1,034	113.7%	
乳がん(甲状腺)検診	マンモグラフィ+視触診	269	242	111.2%	
	マンモグラフィ	608	639	95.1%	
	計	877	881	99.5%	
大腸がん検診		3,910	2,979	131.3%	
前立腺がん検診		246	252	97.6%	
骨密度検診		944	586	161.1%	
歯周疾患検診	歯科検診	861	835	103.1%	
	唾液検査	288	294	98.0%	

(3) 健康増進事業

- ① 令和5年度の初回分割型の保健指導については、新規で下仁田町、草津町、川場村から受託しました。特定健診の新規受託市町村の影響もあり、総受診者数は増えましたが、特定保健指導の初回実施数は前年度比95.2%と減少しています。服薬者の増加により、特定保健指導対象者が減少していることが原因と考えられます。要医療対象者については、市町村及び財団から必要に応じて医療機関への受診勧奨を行っています。また、階層化後の特定保健指導については、高崎市榛名倉渕地区から新規受託しましたが、前年度と概ね同様の実施数となっています。
- ② 健康サポート事業については、2団体と継続して契約しました。個別カウンセリングについては、一定の団体と継続して契約しています。前年度は同一の相談者が複数回利用していましたが、令和5年度実績は継続者の利用が1回のみとなっています。

事業区分		令和5年度実績	令和4年度実績	前年比(%)
保健指導(初回面接分割型を除く)				
特定保健指導	積極的支援	110	129	85.3%
	動機付け支援	238	214	111.2%
一般保健指導		260	411	63.3%
計		608	754	80.6%
初回面接分割型保健指導				
特定保健指導 初回実施数		894	939	95.2%
階層化後	積極的支援	194	241	80.5%
	動機付け支援	570	581	98.1%
	情報提供	109	94	116.0%
	医療優先	21	23	91.3%
健康サポート事業		2	4	50.0%
個別カウンセリング		1	9	11.1%

(4) 病理検査事業

- ① 受託細胞診、受託組織診に関しては、依頼元の病院が閉院したこともあり、細胞診、組織診ともに減少しました。今後に関しては、契約先と信頼関係を保ち、精度の高い検査をスピーディーに行うことで、引き続き受託できるよう努めます。
- ② 群馬県職員定期健診を新たに受託し、喀痰細胞診検査で約8%増加しました。
- ③ 定期的な内部精度管理結果は、すべて適正と判定されています。また、精度を維持できるよう外部精度管理にも積極的に参加しております。

事業区分	令和5年度実績	令和4年度実績	前年比(%)
細胞診検査	29,272	31,009	94.4%
組織診検査	4,911	5,425	90.5%
喀痰細胞診検査	2,348	2,166	108.4%
計	36,531	38,600	94.6%

(5) 学校保健検査

- ① 児童生徒数の減少の影響により、結核検診、心臓検診、貧血検査については微減となりました。
- ② 新規で5町村の小学校4年生の心臓検診が開始となりました。私立高等学校12校については、令和4年度までは「4誘導心電図+2点3心音図」を実施していましたが、令和5年度から「12誘導心電図+2点3心音図」へ誘導方法を変更しました。
- ③ 新規で伊勢崎市、玉村町の尿検査を約20,000件受託しましたが、自然減が約3,000件あるため、全体では約17,000件の増加となりました。

事業区分		令和5年度実績	令和4年度実績	前年比(%)
胸部(結核)検診		22,945	23,686	96.9%
心臓検診	小学校	28,840	28,991	99.5%
	中学校	16,291	16,664	97.8%
	高等学校	16,223	16,597	97.7%
小児生活習慣病予防健診		3,499	3,639	96.2%
貧血検査		19,389	20,121	96.4%
血液検査		1,550	1,587	97.7%
寄生虫検査		36	150	24.0%
尿検査		141,950	125,142	113.4%
計		227,778	212,891	107.0%

※ 心臓検診-小学校には、特別支援学校での実施数を含む。

(6) 先天性代謝異常等検査

- ① 県の委託事業として、20疾患を対象に新生児マススクリーニング検査を実施しました。
- ② 令和6年4月から国の実証事業として、都道府県等においてモデル的に2疾患(重症複合免疫不全症及び脊髄性筋萎縮症)を対象として行われるマススクリーニング検査に参加できるよう、県と連携して体制整備に取り組みました。カットオフ値設定のためのパイロットスタディを県内の分娩取扱い機関の協力の下、実施しました。

事業区分		令和5年度実績	令和4年度実績	前年比(%)
初回検査		10,820	11,831	91.5%
再検査		990	998	99.2%
低体重・スクリーニング外		583	646	90.2%
計		12,393	13,475	92.0%
(要精 実施者 数) ※	先天性甲状腺機能低下症※	18	18	100.0%
	先天性副腎過形成症	7	6	116.7%
	ガラクトース血症	6	8	75.0%
	アミノ酸代謝異常症	1	7	14.3%
	有機酸代謝異常症	1	4	25.0%
	脂肪酸代謝異常症	0	2	0.0%
	計	33	45	73.3%

※ 令和4年度実績：群馬大学医学部附属病院、前橋赤十字病院の甲状腺機能低下症検査の再検査4名を含む。
 ※ 令和5年度実績：群馬大学医学部附属病院、前橋赤十字病院の甲状腺機能低下症検査の再検査4名を含む。

(7) 診療所事業

- ① 人間ドック実施指定機関として、新たに2団体の健康保険組合と契約を締結し、新規受診者の確保に努めました。
- ② 胃内視鏡検査については、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行したこともあり、適切な感染防止対策を継続した上で、段階的に受入れ人数を増やし、令和5年度は1日あたり平均23名を実施しました。さらに、キャンセルにも速やかに対応し、管理を徹底することで、実施数の確保を図りました。
- ③ 健診予約の対応については、受診者にとって適切な提案を行うなど、常に受診者目線に立った対応に努めました。
- ④ 受診者向けアンケートの結果を活用し、受付時の混雑解消の対応を行うなど業務の改善に努めました。
- ⑤ 健診従事スタッフの接遇の向上を図り、受診者に気持ちよく利用していただけるサービスの提供に努めました。

【診療所】 (単位：人)

事業区分		令和5年度実績	令和4年度実績	前年比(%)	
基本 コース	人間ドック	1,372	1,252	109.6%	
	生活習慣病予防健診	5,011	4,955	101.1%	
	一般健康診断	2,225	2,154	103.3%	
特殊健康診断		886	788	112.4%	
特定健康診査		1,173	1,109	105.8%	
がん検診		4,846	4,450	108.9%	
計		15,513	14,708	105.5%	
オ プ シ ョ ン 検 査 (抜 粋)	子宮頸がん検診	1,222	1,222	100.0%	
	乳 が ん 検 診	マンモグラフィ撮影	484	484	100.0%
		視触診+マンモグラフィ撮影	429	507	84.6%
		乳腺超音波検査+マンモグラフィ撮影	148	131	113.0%
		視触診+超音波、超音波検査	66	47	140.4%
	計	1,127	1,169	96.4%	
	胸部低線量ヘリカルCT	218	212	102.8%	
腹部超音波検査	2,413	2,259	106.8%		
新型コロナウイルスワクチン接種		1,043	1,645	63.4%	

(単位：人)

事業区分		令和5年度実績	令和4年度実績	前年比(%)
精 密 検 査	胃がん	50	39	128.2%
	大腸がん	18	16	112.5%
	乳がん(甲状腺)	271	329	82.4%
	その他	484	456	106.1%
	計	823	840	98.0%

2 県民の生活環境の保全等を図るための検査分析及び支援事業

食品検査の実施に当たっては、食品 GLP (Good Laboratory Practice) システムに従い、製品検査部門とは別に信頼性確保部門(精度管理室)を設け、内部点検、内部精度管理及び外部精度管理を定期的の実施して、検査精度の向上に努めています。令和 5 年度の精度管理結果は、全て「適正」でした。

また、検査結果の報告だけではなく、依頼者からの相談対応、検査結果、食品表示方法への助言、衛生管理向上のための支援(コンサルティング)を実施しました。

腸内細菌・ノロウイルス検査に当たっては、微生物による食中毒の危害を未然に防ぐことを目的とし、水道事業者、食品関係事業者等を対象に実施しました。

水質・環境検査の実施に当たっては、計量証明事業所として、排水や浄化槽放流水を検査し、計量証明書を発行しました。

さらに、人の健康に関わる検査としては、浴槽水のレジオネラ属菌検査等を実施したほか、依頼者の要望に対応するため、環境水、土壌等の検査を実施できるよう体制整備に努めました。

(1) 食品検査

- ① 5 年ごとに行う食品衛生法登録検査機関の更新に向け、年度当初より準備をはじめました。関東信越厚生局とのやり取りを経て、9 月に申請、10 月には立入検査を受け、11 月 9 日に無事登録を更新することができました。
- ② 食品の安全と安心を守るためには、食品を扱う関係事業者の衛生管理に対する正しい知識と、積極的な取り組みが欠かせません。このことから、一般社団法人群馬県食品衛生協会の協力の下、食品関係事業者に対する食品自主検査及び腸内細菌検査を周知するため、6 月 26 日開催の「令和 5 年食品衛生協会役員総会報告会・研修会」及び、8 月 23 日開催の「前橋食品衛生協会令和 5 年度指導員研修会」で研修講師を務めました。また、食品事業者からの質問等にも適宜対応し、食品の衛生管理の向上に努めています。
- ③ 試験検査の業務管理に関する知識を深めるため、11 月 27 日に公益財団法人日本適合性認定協会から講師を招き、「食品 GLP 研修会」を開催しました。県内検査機関 8 機関からも大勢の参加をいただき、出席者は計 40 名でした。
- ④ 検査結果成績書に添付する検査結果説明文を見直し、検査依頼者が検査結果についてよく理解できるようフォローアップに努めました。その結果、電話による検査結果の問い合わせが激減しました。

【食品検査】

(単位：件)

事業区分	令和 5 年度実績	令和 4 年度実績	前年比(%)
微生物検査	7,213	7,582	95.1%
理化学検査	4,962	5,306	93.5%
計	12,175	12,888	94.5%

(2) 腸内細菌等検査・ノロウイルス検査

- ① 腸内細菌検査は、新型コロナウイルス感染症の影響による飲食店数の減少や少子化による幼稚園・保育園の統合で従事者が減少したため依頼数も減少しました。
- ② ノロウイルス検査は事件数（食中毒）の増加に伴い、飲食店から突発的な依頼があり前年度に比べ、増加しました。

【腸内細菌等検査・ノロウイルス検査】 (単位：件)

事業区分	令和5年度実績	令和4年度実績	前年比(%)
腸内細菌等検査	65,980	67,030	98.4%
ノロウイルス検査	1,353	1,306	103.6%
計	67,333	68,336	98.5%

(3) 水質検査

- ① レジオネラ属菌検査の陽性施設の相談に応じ、再検査や採水を行い、陰性になるようにアフターフォローも努めました。
- ② 公益財団法人群馬県環境検査事業団が行う群馬県独自のシステムである浄化槽放流水の浄化槽法効率化11条検査について、計量証明事業所として協力しました。
- ③ 計量証明事業所として、外部精度管理等に参加し、検査精度の向上に努めました。

【水質検査】 (単位：件)

事業区分	令和5年度実績	令和4年度実績	前年比(%)
計量証明事業	16,943	17,061	99.3%
水質検査	1,582	1,600	98.9%
計	18,525	18,661	99.3%

II 普及啓発事業

県、市町村及び関係団体等との連携のもと、県民に向けて、予防医学についての正しい知識を普及し、疾病の早期発見・早期治療、心身の健康づくりに関する意識の向上を図るための事業を実施しました。

1 疾病予防及び健康増進に関する知識の普及・啓発事業

(1) 複十字シール運動（8月1日～12月31日）・結核予防週間（9月24日～30日）

- ・ 結核や肺がん・COPDを含む胸部に関する疾患をなくして、健康で明るい社会をつくるため、これらの病気に関する知識の啓発と予防意識の高揚を図るとともに、事業資金を集めるために行われる募金活動を実施しました。（公益財団法人結核予防会主催の全国運動）
- ・ 8月1日に群馬県地域婦人団体連合会（全国結核予防婦人団体連絡協議会群馬県支部）とともに、複十字シール運動開始にあたって群馬県を表敬訪問し、運動への協力を依頼しました。また、県、市町村等へ募金依頼を行うほか、事業所等を対象に郵送募金を行いました。（募金総額：2,736,115円）
- ・ 新聞広告掲載や関係機関へのポスター配布等を通じ、啓発キャンペーンを行い、結核予防に関する正しい知識の普及啓発を図りました。

(2) がん征圧運動・がん患者支援

- ・ がん検診受診勧奨のラジオCMを6月から週に1度、5週に渡り放送するなど、年間を通じ啓発キャンペーンを実施しました。がん征圧月間（9月）では、新聞広告掲載や関係機関へポスター（1,430部）配布、群馬県庁昭和庁舎ライトアップ等を行いました。また、12月8日には県のがん検診受診率向上対策事業の一環で行われた「ショッピングモール検診事業」に協力し、県内商業施設において共同でがん検診受診勧奨キャンペーン活動を行いました。
- ・ 子宮頸がんについて、デジタル広告やホームページ等を活用した情報発信により、正しい知識の普及啓発を積極的に行いました。
- ・ がん患者やその家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指すチャリティウォークイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパングンマ」の実行委員会事務局として、10月7日～8日にALSOKぐんま総合スポーツセンターで第11回大会を開催し、67チーム（うち患者会10チーム）、延べ4,562人（うち、サバイバー222人）が参加しました。集められた募金等（総額6,025,254円）のうち、イベント開催等の経費を除いた1,536,974円は、公益財団法人日本対がん協会へ寄付され、がん征圧とがん患者支援に役立てられます。
- ・ 県内で活動するがん患者会の集まりである「群馬県がん患者団体連絡協議会」に助成金を交付し、活動を支援しました。また、協議会事務局として、患者会・支援団体相互の交流や情報交換・協力体制の整備を図るとともに、県内のがん予防と早期発見の推進、医療・ケアの向上に向けた提案を行いました。
- ・ 令和6年2月10日には、上記事務局として、がん患者が中心となって、がん患者、家族、支援者、医療従事者が共に集い、がんを強い群馬を目指し、勇気や元気を分かち合うための催しである「群馬県がん患者ミーティング2024」を、けやきウォーク前橋

において開催し、約 30 名が参加しました。

(3) 健康教育資料の提供・健康啓発活動

- ・ 県民に向け、疾病の早期発見・早期治療・健康づくりを促し、食や環境への意識を高めるため、機関誌「健やかぐんま」を企画・編集・発行（年 4 回）し、各市町村や関係医療機関、関係団体に無料で配布（約 8,000 部）しました。
- ・ 疾病予防及びがんの早期発見の啓発事業の一環として、当財団が所有する健康教育資料の乳がん教育用パネル（5 団体・延べ 7 回）、乳がん視触診モデル（6 団体・延べ 9 回）、骨粗しょう症モデル（4 団体・延べ 4 回）を、市町村等関係団体へ無料で貸し出しました。
- ・ 10 月 9 日に開催された子宮頸がん予防啓発を目的とする「高崎美スタイルマラソン 2023」に協賛し、無償で子宮頸がん検診車を貸与し、運転技師を派遣しました。当日は、検診車を使用して、高崎市の子宮頸がん検診が実施されました。
- ・ 11 月 3 日開催の「第 33 回ぐんまマラソン」に協賛し、啓発資料の配布や健康教育資料の使用を通して、参加者に健康意識の啓発を図りました。
- ・ 令和 6 年 3 月 9 日に開催された NPO 法人群馬がんアカデミー主催の「がんアカデミーサミット」に後援・協力し、イベント会場において、「リレー・フォー・ライフ」の PR と無料骨密度（59 件）・体組成（47 件）の測定を実施しました。
- ・ 県内中学生を対象としたキャリア教育の副読本「わたしたちの地域のお仕事ブック（後援：群馬県教育委員会）」に協賛し、その誌面において、当財団の業務内容を紹介しました。発行部数は、20,000 部、県内の全中学 2 年生に配布されました。

(4) 視察研修及び職場体験の受入

- ・ 医師や看護師などの医療職を志す大学 4 校の実習・視察や、県内中学校 2 校の職場体験を積極的に受け入れ、学生・生徒の育成支援に努めました。

2 県民の健康づくりに役立つ調査研究等に対する助成・普及事業

(1) 旦尾健康づくり助成基金事業

- ・ 県民の健康増進や疾病予防等健康づくりに役立つ調査研究事業 6 課題に対し、「あさを賞」研究助成金の交付を決定しました。
- ・ 調査研究活動の成果報告は、当財団ホームページ及び群馬県地域保健研究発表会の抄録集に掲載し、広く県民に周知しました。

(2) 群馬県地域保健研究発表会

- ・ 県内の地域保健関係者が、日常業務を通じた調査研究活動から得られた成果を発表する場として「群馬県地域保健研究発表会（第 11 回）」を令和 6 年 3 月 19 日に群馬県庁 291 会議室において開催しました。17 演題の発表が行われ、県内関係者約 100 名が聴講しました。

3 群馬県からの委託による公衆衛生の向上に係る公益的事業

(1) 臓器移植推進事業

- ・ 臓器移植ネットワークを通じて臓器の提供・移植を受けるために必要な「移植希望登録」について、6件の新規登録料の一部を助成しました。
- ・ 臓器移植に関する研究の助成を目的として、県内在住・在勤の医療従事者（医師を除く）を対象に、臓器不全あるいは臓器移植に関連した研究を公募しました。
- ・ 臓器移植の推進と事業運営資金確保のため、県、市町村、団体等への臓器移植推進募金運動を積極的に展開しました。（募金総額：548,479円）
- ・ 臓器移植普及推進月間（10月）には、グリーンリボンキャンペーンとして群馬県庁昭和庁舎、臨江閣のライトアップや、リーフレット・啓発品の配布などを通じて意思表示の促進を図りました。

(2) がん登録事業

- ・ がん登録事業報告書を作成し、その概要版を財団ホームページへ掲載しました。あわせて、県が推進している「G-WALK+」や「ぐんま元気（GENKI）の5か条」を紹介し、運動不足解消や減塩といった生活習慣の改善を啓発しました。
- ・ 認定特定非営利活動法人日本がん登録協議会と一般社団法人全国がん患者団体連合会との共同プロジェクトである「J-CIP（ジェイシップ）」へも協力し、群馬県の医療圏別の罹患を表した地図を作成して、地区によって罹患の多いがんの検診に注目してもらえるように掲載しました。

がん登録状況（歴年）

（単位：件）

区分	登録の状況	届出の状況	
	罹患数	届出票の届出数	病医院及び診療所数
平成6年	6,303	2,648	92
平成10年	6,513	5,101	79
平成20年	12,111	7,738	74
平成25年	14,407	19,213	99
平成26年	14,727	19,797	97
平成27年	15,092	20,982	93
平成28年	16,255	13,471	80
平成29年	16,482	26,559	95
平成30年	16,269	23,138	110
平成31／令和元年	16,630	23,221	109
令和2年	15,437	24,725	101
令和3年		22,655	101
令和4年		24,670	97
令和5年		24,091	103
累計（平成6～令和5年）	273,522	389,168	2,488

注：「登録の状況」平成25年以降の件数については、地域がん登録から全国がん登録に移行したため、国（国立がん研究センター）により集計されています。

注：平成6年から実施。平成7年～9年、平成11年～19年、平成21年～24年は記載省略。

Ⅲ 諸会議・各種体制整備

1 理事会及び評議員会

会議名	開催月日	主な議題
理事会	令和5年6月14日	1 令和4年度事業報告について 2 令和4年度収支決算について 3 検診車・移動診療車の整備事業による胸部X線デジタル検診車の整備について 4 評議員会の招集について
評議員会	令和5年6月29日	1 令和4年度事業報告について 2 令和4年度収支決算について 3 評議員の選任について 4 理事及び監事の選任について
理事会	令和5年6月29日 (全員同意によるみなし決議)	1 理事長、副理事長、専務理事、常務理事の選定について
理事会	令和6年3月12日	1 令和6年度事業計画について 2 令和6年度収支予算について 3 組織規程の一部改正について 4 就業規程の一部改正について 5 給与規程の一部改正について 6 検診車・移動診療車の整備事業による胸部X線デジタル検診車の整備に関する事業計画の変更について 7 利益相反取引の承認について 8 評議員会の招集について
評議員会	令和6年3月22日	1 令和6年度事業計画について(報告) 2 令和6年度収支予算について(報告) 3 組織規程の一部改正について(報告) 4 就業規程の一部改正について(報告) 5 給与規程の一部改正について(報告)

2 その他会議等

- ・ 公益財団法人予防医学事業中央会との共催で、「令和5年度 情報統計研修会」(8月24日～25日)を事務局として開催しました。全国28支部から81名の成績処理部門や情報統計処理部門担当職員が集まり、更なる正確性や効率化向上のため研修を実施しました。
- ・ 群馬県地域婦人団体連合会との共催で、「第16回関東甲信越地区結核予防婦人団体幹部講習会」(12月8日)を事務局として開催しました。8県から約60名の会員が参加し、婦人団体の意識向上と、地域における積極的な活動の後押しを図りました。

3 各種体制整備

(1) 総合的なリスクマネジメント体系の整備

- ・ 職員の医療安全に関する意識を高めるとともに、事故の発生しにくい基盤を構築し、安全で信頼される健診・検査を提供するため、平成29年度に医療安全管理指針を制定しています。指針に基づき、ヒヤリ・ハット委員会を開催し、医療安全確保を目的とした報告事例について、発生原因や再発防止策の検討・評価などの取り組みを実施しました。

(2) 職員の資質向上

- ・ 公益財団法人予防医学事業中央会等が開催する各全国大会やブロック会議などへ参加し、予防医学に関する状況等を把握するほか、関係団体との交流を図るなど、よ

りよい健診・検査ができるよう取り組みを進めました。

- ・ 令和2年10月に策定した「人材育成基本方針・計画」に基づき、職位別研修を実施するほか、関係団体が実施する研修会への派遣研修や自主研修制度の利用を促すことにより、職員の資質向上に取り組みました。
- ・ 受診者や利用者の皆様に気持ちよく財団を利用していただけるよう、全職員を対象とした「アサーティブコミュニケーション研修」を令和6年2月27日及び29日の2日間、計3回実施しました。

(3) 健康経営優良法人の認定

- ・ 令和3年度以降、健康優良認定法人（大規模法人部門）に認定されています。職員の健康管理を経営的に考え、引き続き、ワークライフバランスの実現や健康管理の充実等を図り、職員一人ひとりの心身の健康維持・増進に取り組んでいます。

(4) 個人情報保護

- ・ 県民の個人情報の保護意識の高まりに応え、社会的信用を得るとともに、職員の個人情報保護意識の向上を図るため、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）と7月に5回目のプライバシーマーク付与契約の更新を行いました。
- ・ プライバシーマーク制度の適切な運用を確保するため、継続的にJIS要求規格に適合するよう改善に努めるほか、令和6年3月18日から29日までの間、動画による職員研修を実施するなど、個人情報の取扱いと管理に万全を期しています。